記録係　マニュアル

○仕事

→記録は看的板をみてそれを写してください。書き損じた場合は修正テープなどを使わず

集計の分かるように二十線を引くなどして訂正してください。

射を出来る限りよく見ていてください。なお、当たったかどうかあやしい矢、看的が間違えていそうな矢があったら、？マークをつけるなどしてチェックしておいてください。

行射が終わりサイコロが置かれたら、記録と合っているかチェックします。合っていれば放送係に「大丈夫です」と伝えてください。

間違っていたら「第一射場落ちの確認お願いします」などと放送に言ってください。そして的前審判の審判にしたがって下さい。

看的板が間違っていた場合、「第一射場２本目の看的を直してください」などと放送係に伝えてください。

記録が終わり次第、すみやかに封筒へ記録用紙を投入してください。

早く書き終わった方が、もう一人の記録係の記録用紙を回収してから、それら２枚を封筒へ入れてください。

封筒に入れた記録用紙は集計が回収します。

○誰もいない射場にはじめて選手を入れるとき

→点呼が進行、放送、記録の準備が整っているか確認してから選手を射場に入れます。

記録も点呼の様子に気を払ってください。

○射詰のとき

→看的板を写すのは通常の仕事と同様にお願いします。

確認のとき、的前審判が射場ごとに

「前射場大前残念、中的中、落ち残念です」などと言います。

記録係は手元の記録を確認し、進行係ともアイコンタクトをとって介添えからの異議がないことを確認してから「はい」と言ってください。

再確認が必要な場合は、「前射場の落ちをもう一度確認してください」などと言います。

再確認時は射場ごとではなく、的ごとに「はい」と言う必要があります。

○体調管理

→水分補給をしっかり行い、体に気をつけてください。